

武蔵野公会堂改修等工事に関する基本設計案について

1 これまでの経過

武蔵野公会堂は、1964年の開館から60年が経過し、設備の老朽化などから建物の更新時期を迎えている。これまで建物・設備の各種調査結果に基づき、延命化と全面建替えの比較検討を行い、有識者会議や市民アンケート、パブリックコメント等の意見を踏まえ、令和4年度に改修等基本計画を策定した。同計画においては、以下の基本的な考え方とともに、施設のコンセプトや改修方針、主な改修事項等を示した。

- ・ホール棟は、コンクリートや耐震性能に問題なく、改修等(増築・減築を含む改修)で多様な用途に対応可能である。
- ・全面建替えの場合には、築60～80年程度使用可能な施設として建設することとなり、多岐にわたる検討・調整を行うため建設までの期間が長期に及ぶ。給排水設備等の劣化更新が急がれる現状を鑑みると、建替えまでの期間の施設運営の継続が困難となる事態が考えられる。
- ・全面建替えの場合は、多様な主体が連携してビジョンを描く吉祥寺駅南口の将来の面的整備の可能性に制約を与えることにもなる。また、面的整備を想定して使用期間を20年程度とする場合には費用対効果の課題が大きい。
- ・これらを踏まえ、改修等により築80年程度までの利用を目指して延命化を図ることとする。

この基本計画に基づき、令和5年度に公募型プロポーザルにより設計者の選定を行い、基本設計の検討を進め、このたび基本設計の案を取りまとめた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公会堂更新検討	【文化施設の在り方検討委員会】 引き続きこのエリアにおいて市民文化の交流・発信拠点としての機能が期待される			【文化施設整備計画】 延命化案など複数の改善案を比較・提示	
各種調査・更新方針検討		【目標耐用年数検討PJ】 耐震性・劣化状況等各種調査 更新方針検討		【第2期公共施設等総合管理計画】 将来の施設周辺の面的整備やコンクリート耐久年数を踏まえ、延命化の方針とし、検討委員会の意見を踏まえ基本計画策定を進める	
有識者会議 基本計画策定				【有識者会議・市民意見聴取】 更新方針や備えるべき機能、まちとのつながりなどについて意見聴取 【改修等基本計画策定】 既存建物の改修による延命化。具体的な改修範囲は設計者提案に委ねる	
設計者選定 基本設計					公募型プロポーザル(公開ヒアリング実施)で設計者選定 基本設計開始
パークエリアまちづくり検討				交通環境改善検討・パークエリアの将来像試案作成	

(裏面あり)

2 基本設計について

「武蔵野公会堂改修等工事基本設計案（概要版）」のとおり

3 概算工事費について

概算工事費 約 26 億円（税込）

（建物一部減築及び増築、電気・機械設備・舞台設備更新、エレベーター新設含む。）

※工事費は、現段階における概算額であり、今後の実施設計の内容や入札時の建設コストにより変動する可能性がある。詳細の工事費については、実施設計段階で各種仕様の優先度を見極めながら精査を行う。

4 今後のスケジュール（予定）

内容	時期
基本設計	令和 5 年 12 月～令和 6 年 9 月（約 10 か月）
実施設計、建築確認申請	令和 6 年 10 月～令和 7 年 9 月（約 12 か月）
入札、議案審議、工事契約	令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月（約 6 か月）
改修工事（施設休館） ※令和 8 年度に指定管理者公募予定	令和 8 年 4 月～令和 9 年 7 月（約 16 か月）
開館準備	令和 9 年 7 月～10 月（約 4 か月）
開館	令和 9 年 11 月

※市民説明会及びオープンハウスの開催

(1) 日程及び会場 令和 6 年 7 月 6 日（土） 武蔵野公会堂第 1・第 2 会議室

(2) 内容

①説明会（10:30～12:00） 市及び設計者による改修コンセプト等の説明

②オープンハウス（13:30～16:30） 模型・パネル展示、市及び設計者による対話型の説明

(3) 広報 市報 6 月 15 日号、市ホームページ等

担当課 市民部市民活動推進課